

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度	昭和46年度～	根拠法令・例規等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	
	中項目	基本計画	09	環境を大切に将来につなぐまち	
	小項目	施策	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	
事務事業名		07	し尿処理施設維持管理事業		
問		担当課(室)	環境課		
先		職・氏名	衛生係長・國光裕一郎		
電		電話	64-1821		
時間		このシート作成に要した時間			

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	備前地域・日生地域で汲取りトイレまたは浄化槽を利用している市民及び市内事業者	
目的(何のために)	備前地域・日生地域にある汲取りトイレまたは浄化槽で発生したし尿・浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理することにより、生活環境の保全につなげる。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	し尿処理施設を適切に維持管理することで、し尿・浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理する	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		Do	
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	し尿処理施設維持管理事業	備前・日生地域で発生したし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するため、し尿処理施設を維持管理する	◎
	岡山県し尿処理施設協議会事業	し尿処理施設の管理、運営、整備等について研修等を行い、管理者のスキルアップを図る。	○

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	32,843	29,704	25,512
	必要人員	人	3.32人	3.09人	3.15人
	事業費計	千円	61,022	54,633	46,596
	国庫支出金				
	受益者負担				
財源	千円				
市債					
その他( )					
一般財源		61,022	54,633	46,596	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
結果指標	し尿及び浄化槽汚泥処理量	説明	事業費を活動コストとし、単位当たりのし尿・浄化槽汚泥の処理費用を算出		
	結果指標量	KL	11,347	10,985	10,397
	対前年比	%	-	96.8%	94.6%
	活動コスト	円	61,022,000	54,633,000	46,596,000
単位当たりコスト	円	5,378	4,973	4,482	

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	目標値 (A)		5000	5000	5000	4500
	実績値 (B)		5,378	4,973	4,482	到達目標値
	達成率 (B/A)		107.56%	99.47%	89.63%	4500
成果指標設定の考え方・式や説明						
処分費用(施設維持管理費+人件費)/し尿及び浄化槽汚泥の処理量						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い
	市民ニーズ			A
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない		有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		B

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標に留意しながら

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	現施設の運営にあたっては、コストの削減に努め、法令を順守し適正な処理を行う。搬入汚泥量の減少とこれに伴う日搬入量の変動が大きくなっているため、計画的に処理日数を削減し、処理量の安定を図る。						

総合評価		総合評価
下水道の普及等によりし尿・浄化槽汚泥の収集・処理量はさらに減少すると予測されるが、法令に基づき今後も事業を継続する必要がある。 施設の運営にあたっては、運転方法の改善に積極的に取組み、汚泥の処分方法を施設内焼却から民間委託でのコンポスト化に切り替えるなど、環境負荷の低減とコストの削減に努めているが、施設の老朽化も進み、今以上のコスト削減は困難である。 現施設は稼働開始からすでに40年が経過し、老朽化が著しいため、施設更新を進めており、平成27年度末の稼働を目指している。		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	現施設の運営にあたっては、法令を順守し適正な処理を行う。施設更新を目前に控えており、修繕料等を必要最小限に抑えコスト削減に努める。						

Action